

有害鳥獣捕獲状況等について

令和 6 年 1 2 月末時点における、有害鳥獣の捕獲状況等について報告します。

1. 有害鳥獣捕獲数

【単位：頭、羽】

種別		R3年度	R4年度	R5年度	12月末現在	
					R5年度	R6年度
シカ	出雲北山山地	379	390	466	335	396
	湖北山地	482	396	419	321	302
	その他地域	18	42	52	48	48
イノシシ		1,445	1,645	1,524	1,189	1,625
ヌートリア		962	755	659	450	466
アナグマ		260	422	253	216	332
その他獣類		247	362	254	178	264
カラス		1,020	1,212	1,122	984	1,034
スズメ		242	211	455	455	325
その他鳥類		105	42	151	25	11

●その他獣類：タヌキ、ハクビシン、イタチ、テン、アライグマ等

●その他鳥類：オオバン、カモ等

2. 鳥獣別被害額

【単位：千円】

種別	R3年度	R4年度	R5年度	12月末現在	
				R5年度	R6年度
シカ	392	708	412	277	163
イノシシ	4,011	2,545	3,111	3,097	1,502
ヌートリア	0	0	131	131	0
その他	93	26	62	62	0
合計	4,496	3,279	3,716	3,567	1,665

●出典：島根県農業共済組合有害鳥獣被害状況調査

シカ被害対策巡視員による被害状況調査

●R3 年度その他：スズメ、カモ、R4 年度その他：ドバト

R5 年度その他：カラス

3. 出雲北山山地及び湖北山地のシカ推定生息頭数の推移（ベイズ法）

（ ）：ベイズ法中央値 【単位：頭】

山地名	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
出雲北山	918～2,288 (1,453)	949～2,489 (1,527)	879～2,592 (1,516)	721～2,764 (1,469)
湖北	1,011～1,489 (1,193)	927～1,468 (1,137)	765～1,409 (1,021)	542～1,341 (864)

● 「ベイズ法」

平成13年から令和5年までの区画法によるシカ発見数、シカの糞の数、夜間のシカ目撃数（ライトセンサス調査）など複数の生息密度指標と捕獲頭数を用いて算出した生息頭数推定計算式に、令和6年の調査で得た複数の生息密度指標と捕獲頭数を入力、分析によって令和6年の生息頭数を推定。